

くめなんギカイ No.94

令和8年6月議会

News from Kumenan Town Council



宮地やすらぎの里に咲く「はすの花」 朝露にひらく、久米南町の夏の風物詩



6月定例会 一般質問
町村議会議長・副議長
研修会に参加 ほか

P2-7
P8



議会HPは
こちらから

一 般 質 問

町政を問う

P5 森崎 文一

- ★1. 小学校統合に係る問題点と課題について
- ★2. 保育園の今後について

P6 石井 一広

- ★1. 防犯カメラ設置について
- ★2. 駅トイレの洋式化（多目的化）について
- ★3. 久米南町美しい森（キャンプ場・ビジターセンター等）の維持管理と今後の活用について

P7 南 直樹

- ★1. 防災庁設置に伴う地方防災拠点・防災局の誘致について
- ★2. 小規模農家への支援について

P8 立石 祐一

- 1. 久米南町の少子化対策について
- ★2. 町内の小中学校の修学旅行費用の全額公費負担について
- 3. 久米南町内に農業トレーニングファームの誘致を

P9 政廣 幹夫

- 1. 町民から聞いた(1)～(6)について町の対応を
 - ★(1)町民の体力の衰えによるごみ収集の相談窓口について
 - (2)町営住宅団地内の空き家敷地内の除草について
 - (3)神目共和団地敷地西側の水路からの浸水対策について
 - (4)单身団地住民の死後の家財家具等の処分について
 - (5)美咲町と比べ見劣りする国道歩道の改善について
 - (6)久米南町の野良猫問題への取り組みについて
- ★2. 介護事業所への県補助制度の説明と町の積極的な対応を
- 3. 米・イラン戦争は町民の暮らしや営業、町事業へどう影響か
- 4. 国道から庁舎駐車場へ出入りする車両への危険性除去を
- 5. 「町公共交通計画」にうたう運行事業者との連携で福渡病院便の改善を
- 6. 岡山市同様の学校給食無償化を4月に遡及して実施を
- 7. 片山町長は後期高齢者医療連合組合議会でどんな議論をされたか
- 8. 岡山市北部の地域医療検討会議へ町はどう臨んでいくか
- 9. 町内小中学校児童生徒のスマートフォン所持率・利用をめぐる問題は
- 10. 困難女性支援法施行から3年経過したが町の対応状況は
- 11. 有価証券購入等を始めて以降の基金の運用状況は

（欠席議員）中力 早苗・近藤 賢司

※議会だよりに掲載している質問を★で表記しています。

※質問内容及び答弁は議員自らが作成、議員の責任で掲載しています。

教育と保育のこれから

―地域の未来を見据えて―



森崎 文一 議員



動画

小学校統合に係る問題点と課題について

問 通学方法と放課後児童クラブの運用について問う。

答 教育課長
スクールバスは、運行ルートや時刻、乗降場所について必要な調整を行う。保護者にはバス利用申込みに合わせて文書で分かりやすく周知したい。

答 保健福祉課長
放課後児童クラブは自主性や社会性を習得するうえで大変

は民間活力の導入を検討。②普通財産とする場合は公募により賃貸または譲渡を検討。③災害時における他の公共施設等の使用が望めない場合は避難所としての活用も検討。

廃校後のプールを消防水利として活用する案について、町が管理する期間は、プールも当面同様の維持管理になると想定している。

答 教育課長
用途廃止となる学校施設、建物、遊具、フェンス等については、修繕や撤去なども含め適切に対応したい。また運動場の維持管理や敷地周辺の草刈り等についても、必要な管理を行ってまいりたい。廃校後の学校敷地へは基本的には立ち入りを制限することになる。想定される年間維持費は最低限必要な管理にとどめる場合3校で約160万円を見込んでいる。様々な備品や機材については、再利用が見込めないものは整理を行うことで財産の有効活用と適正な管理に努めたい。地域の歴史的な資料をお預かりし現在保管しているものなどがある。返却や保存方法について適切な取扱いを検討したい。資料の教材利用について、小学校社会科副読本の中に

関連した項目を設け利用ができたかと考えている。

答 町長
副読本の話もあったが、図書館等で広く皆さんに見ていたような形も良いのではと個人的には思う。

保育園の今後について

問 保育園の統合について問う。

答 保健福祉課長
統合について、現時点協議等は行っておらず見通しはないが、協議に入れば速やかに保護者等に説明したい。

問 保育料について問う。

答 保健福祉課長
現在、国の制度で3歳以上は無償。現段階で無償化の検討はない。

答 町長
第2子以降の無償化について、色々な面で子どもさんたちには手厚くしているが、時期を考

答 総務企画課長
跡地利用は、①行政財産としての活用が必要があるもの

答 建設水道課長
西山踏切の拡幅について、相応の期間を要することが想定される。できるだけ早期の完成に向け努めたい。

問 廃校となる小学校の跡地の利活用と備品等の処分について問う。

おもい出が いっぱいあった

ランドセル ― 落合 豊

安全・快適・魅力あるまちへ 3つの課題を問う



石井 一広 議員

防犯カメラ設置について

近年、全国的に犯罪の巧妙化や凶悪化が進み、住民の皆様の防犯意識は大きく高まっている。子どもに登下校時の安全確保、高齢者を狙った犯罪、農作物等の盗難など、地域に密着した不安の声が多く聞かれるようになった。安心して暮らせるまちづくり実現のため、防犯カメラ設置は犯罪抑止や事件解決に有効な手段として注目されている。

問

現在の設置状況について。

答

総務企画課長

本町では32箇所に77台の防犯カメラを設置している。その多くは保育園、教育施設の周辺や庁舎等複合施設等に設置し、犯罪等の抑止力を含めた地域防災力の向上に寄与している。

問

設置支援制度について。

自治体によっては、設置費用の一部を補助する制度を導入している例がある。今後防犯カメラの設置に対する補助制度の創設を検討する考えはあるか。

答

総務企画課長

現時点で設置補助制度の検討には至っていない。しかし、地域防犯力の向上につながる施策のひとつであるとは受け止めている。必要に応じて検討したい。

まとめ

現在、警官駐在所の統合が進められており、防犯カメラの設置は喫緊の課題であると

考える。

駅トイレの洋式化(多目的化)について

近年、公共施設におけるトイレ環境の改善は、観光振興、防災、高齢化社会、障害者への対応という観点からも、重要性を増している。なかでも、駅のトイレは多くの住民や来訪者が利用する、言わば町の玄関口である。町内の駅トイレは和式便器が残っており、高齢者や身体の不自由な方、小さな子ども連れの方にとって、大きな負担となっている。

問

駅トイレの洋式化、多目的化をどのように進めていく考えなのか。整備計画や今後の方針について問う。

答

総務企画課長

誕生寺駅と弓削駅の洋式化はすでに完了している。駅舎は町の施設だが、改修にはJR西日本岡山支社との協議が必要である。また、他の町有施設についても、利用状況や必要性を踏まえ、順次改善に努めていく。しかし、現時点では次の具体的な改修計画には至っていない。

久米南美しい森(キャンプ場・ビクターセンター等)の維持管理と今後の活用について

近年、アウトドア需要の高まりにより、キャンプ場等は観光振興や交流人口の拡大に重要な役割を果たしている。地域の方々が管理運営に携わることで、単なる施設維持だけでなく、地域への愛着や責任感が生まれ、利用者への地域情報発信や、おもてなしにもつながると考える。

問

維持管理・委託の費用はどのようになっているか、作業等に支払われる対価なども伺う。

答

産業振興課長

地域住民で構成する、久米南美しい森管理運営協会へ委託している。作業対価は、管理協会から最低賃金を考慮して支払われている。

まとめ

美しい森の草刈り等、維持管理費用は、機械消耗代分の賃金上乗せを行うなど、社会状況、物価高騰、賃金上昇等を考えながら善処して頂きたい。

防災拠点の可能性と 農業支援の現状を問う



南 直樹 議員

防災庁設置について問う

問 設置により、地方自治体の役割がどのように変化すると考えるか、町ではどの様に認識しているか。

答 総務企画課長
防災庁は、災害への対応を一元化する為のものと認識している。自治体間の連携や支援の迅速化、情報伝達体制の充実等が期待されると考える。

防災関連施設の誘致について問う

問 防災関連の地方拠点や研究施設、備蓄基地等の誘致について、可能性を検討しているか。

いて、可能性を検討しているか。

答 総務企画課長
国、県の動向等を注視し、本町の地理的条件や交通アクセス等を踏まえ、検討していきたい。

問 防災関連施設の誘致は、新たな地域経済効果が期待できると考える。防災分野を生かす視点も必要ではないかと考えるが、町の捉え方を伺いたい。

答 総務企画課長
地域活性化に繋がる可能性があると考える。地域経済の向上にも効果が期待されるとともに、地域の特性を生かしたまちづくりを進めていくことが重要と考える。

問 県や近隣自治体と連携し、中国地方における広域防災拠点としての位置づけを目指す考えはあるか、国への要望活動や情報収集を進める考えはあるか。

答 総務企画課長
広域的な連携の中で役割を分担することも重要と考える。

連携の可能性について情報共有を図り、広域的な体制について研究していきたい。

小規模農家への支援について問う

問 小規模農家の離農が進めば、地域全体への影響も懸念される。地域を守る農業という視点での支援が重要であると考えているが、現状をどのように認識されているか。

答 産業振興課長
厳しい状況下にあると認識している。2年前、10年後の耕作者を示し、将来の農地利用の姿を明確化した『地域計画』を策定した。地域農業の発展、維持に取り組んで頂けるよう期待している。

問 現在どのような支援制度を行っているか。利用しやすい制度となっているか。

答 産業振興課長
水田活用直接支払交付金、中山間地域等直接支払交付金、多面的機能支払交付金等を活用して頂いている。地域の方々に事務をお願いしているが、可能な限りご相談に応じたい。

問 小型農機・地域共同利用・農道や水利維持管理の支援について、現状の取り組みと今後の考えを伺いたい。

答 産業振興課長
交付金を活用し、共同利用機械を導入している集落協定もある。各地域で話し合い、ご検討いただきたい。農道や水利維持管理は、交付金が活用できるので、産業振興課にご相談ください。

有害鳥獣対策との連携について問う

問 鳥獣対策の現状、小規模農家への支援、地域ぐるみ対策への支援について伺いたい。

答 産業振興課長
管理が不十分な箇所があると伺っている。過去に設置された防護柵の点検補修等をお願いした経緯もある。猟友会と連携した有害鳥獣の捕獲、駆除活動に取り組むとともに、防護柵への補助も行っていく。

地域農業の維持について問う

問 小規模農業を、どのように支援していくのか。

答 産業振興課長
地域計画を地域内で共有してもらい、地域内の農地をどう守っていくか話し合いを重ね、農地の維持に繋がっていただきたい。

小中学校の修学旅行費用の 全額公費負担の実施を

大急ぎ チャイムがなった

どうしよう 坂下 諒太



立石 祐一議員

少人数学校における修学旅行費用の高騰と、保護者負担の軽減について

問

近年、物価高騰や外国人旅行者の増加により、宿泊費、交通費の上昇もあり、全国的に修学旅行費用が増加している。特に、地方の小規模校や少人数の学校では、バス代や引率者の費用などを少人数で負担するため、1人あたりの費用が都市部より高額になりやすいという課

題がある。全国では修学旅行費用の無償化や補助制度を導入する自治体も増えている。

本町の令和6年から令和8年の過去3年間の推移について【別表】、特に久米南中学校の修学旅行費用は年々上昇し、全国で最も高い費用負担の状況であることが、国や協会のデータを見ても明らかだ。この現状について町長・教育長の見解を伺いたい。

答

町長

修学旅行費用の全額公費負担について、修学旅行は子どもたちにとって大切な学びと体験の機会であり費用の保護者負担の軽減は重要なことと認識している。

今後は教育委員会と連携し、保護者負担の実態を含めた対応について研究したい。

答

教育長

修学旅行は学習指導要

領上、特別活動における学校行事のうち、旅行、集団宿泊的行事に位置づけられており、児童生徒が日常の学校生活では得られない体験を通じて見聞を広め、集団活動の在り方や公共の場での行動を学ぶ重要な教育活動としている。

一方で、近年の物価高騰等により、宿泊費、交通費などの費用が上昇し、保護者負担が増加傾向にあることについては、当委員会としても課題であると認識している。

各学校において、教育的効果を確保しつつ、行き先や行程、宿泊先、交通手段等を工夫し、保護者負担が過度なものにならないよう努めている。

当委員会として、今後、各学校の修学旅行費の状況や保護者負担の状況の把握に努め、学校と連携しながら、教育的効果、安全面、保護者負担等、総合的に勘案し、研究する。

問

今、世間では体験の格差、地域格差などと言われているが、修学旅行費用、保護者負担の軽減を含め、全

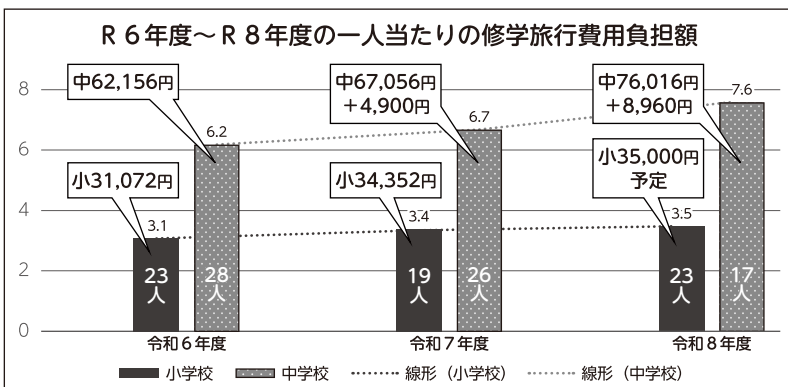
額公費、私はこれについても強く要望する。希望を持てる少子化対策のプロジェクトとして取り上げていただきたいと思う。

答

総務企画課長

横断的分野でのプロジェクトチーム。その分野も踏まえ、議論がなされることを期待している。

【別表】



行財政運営について問う



議員 廣 幹夫

住民からのゴミ出し相談

問 体力の衰えからくるゴミ出し・収集に関して町民から相談を受けた。そういう相談を受ける窓口について、明確に住民の方にお知らせする必要があると感じている。たまたま遭遇した私にではなく、町の窓口にも、誰でもそういう問題が生じたら言えるような状況にしてみたい。

答 税務住民課長

ゴミ出しに関する相談窓口は、役場税務住民課内で対応している。
要件があるが、自ら所定の集積場までゴミを排出することが困難な要介護者、障害者世帯等を対象に、家屋の玄関先でゴミ等を戸別に収集する「ふれあい収集」を行っている。ゴミ出しにお困りの方が気軽に相談できるよう、今後、広報紙への掲載や、地域の民生委員の皆様とも情報を共有し、日頃の見守り活動のなかで、ゴミ出しに困っている方をいち早く察知し、相談窓口へスムーズに繋がられる体制を強化する。

要望

是非、広く分かりやすく知らせてほしい。これは、障害、要介護という方だけに限らない。そういう方からの相談だった。要介護

あたらしい 先生がきて

介護事業所への県補助制度

までに、そういう期間があることを理解してほしい。

問

介護事業所への県補助制度の説明と、この県の事業に対応した、県よりきめ細かに積極的な支援を行う町の制度構築を求めたい。これは相互に関連があることだ。県の補助は事業所ではなく、制度を持つ町へくるのだから。

答

保健福祉課長

議員が言われるのは、岡山県の令和8年度新規事業、「岡山県中山間地域訪問介護サービス等支援事業補助金」のことだろうと思う。当該事業は、先般、県内市町村に周知があり、内容を確認したところ、補助対象となる介護サービスは、訪問系サービスと通所系サービスで、いわゆる訪問介護や通所介護になる。町内には、これらのサービスを提供する事業所もいくつかあるが、補助要件には、送迎に片道20分以上、などの条件

ときどきだ — 宗高 僚汰

要望

片道20分以上ということでは、これは対象がないのではないかと思ったが、社協の訪問介護事業が廃止され、デイサービスの事業所も大変なので、制度を持つ自治体への補助形態であり、今年度限りの県の補助制度であっても、町がまず制度の構築を考えても良いのではと思う。

非常にケチくさい県の話だが、町としてはもうちょっと持続できるような制度を構築することを考えるべきだ。

があるとともに、今年度かぎりの事業となっているので内容をよく精査してまいりたい。



町村議会議長・副議長研修会に参加

5月26日、東京国際フォーラムにおいて「令和8年度町村議会議長・副議長研修会」が開催されました。「地方創生の先行き」、「人口減少社会における外国人材の確保・育成の実践」、「男女共同参画で地域を元気に」、「女性模擬議会の取り組み」の4つをテーマに、各分野の専門家による講演が行われました。4講演を通じて、人口減少が進む中で地域の活力を維持・向上させるための方策や、多様な人材が参画するまちづくりの重要性について学ぶ、有意義な研修となりました。



岡山県町村議会議員新人研修会に参加

7月2日、岡山県町村議会議員新人研修会が開催されました。本町からは河原議長、森崎議員、石井議員が出席しました。「議員の役割と負託される職務をテーマに講義が行われ、地方議会の役割や議員の責務について理解を深め、今後の議会運営に生かす学びの多い研修となりました。」



試合前 きんちようするよ

ドキドキだ 山中 優心

議場に子どもたちのまなざし 3小学校の6年生が来訪

6月定例会では、町内3小学校の6年生が議会傍聴に訪れました。神目小学校（6月9日・12人）、誕生寺小学校（6月10日・6人）、弓削小学校（6月17日・15人）の児童が、議場の雰囲気を感じながら、議員の発言や議会の進行を真剣に見守っていました。子どもたちが議会に触れることは、町のしくみや議会の役割を理解する貴重な機会となります。まっすぐなまなざしで議場を見つめる姿は、議会に新鮮な空気をもたらしていました。



編集後記

新人議員として初めて迎える夏。一つひとつの経験が学びとなり、身の引き締まる思いで日々取り組んでいます。

先日、新設小学校の建設現場を視察し、安全に配慮しながら工事が着実に進められている様子を拝見しました。子どもたちが夢や希望を育み、安心して学べる教育環境づくりには、多くの方々の努力と地域の期待が込められていることを改めて実感しました。

今後も議会活動や町の取り組みを分かりやすくお伝えできるよう努めてまいりますので、ご意見やご感想をお寄せいただければ幸いです。

連日の厳しい暑さが続いております。皆様にはこまめな水分補給と十分な休息を心がけ、熱中症にはくれぐれもご注意ください。



（石井 一広）

議会広報編集委員会

委員長 立石 祐一
副委員長 近藤 賢司
委員 石井 一広
森崎 文一



久米南町議会だより 第94号

（令和8年8月17日発行）

【編集】議会広報編集委員会 【発行】岡山県久米南町議会
岡山県久米郡久米南町下弓削502-1 ☎086-728-2112